

観光委員会 次第

日 時 : 令和7年1月24日(金)
10時00分～
場 所 : 日田商工会議所

1. 開 会

2. 委員長挨拶

3. 担当副会頭挨拶

4. 議 題

① 新年度の委員会事業(案)・予算要求について

(参考：全国商工会議所観光振興大会開催地)

- ・2026年：北海道
- ・2027年：長野県松本市
- ・2028年：福井県福井市

② その他

令和6年度日田祇園山鉾集団顔見世週末開催事業について

5. 閉 会

令和7年度 委員会事業・予算要求書

委員会名

観光委員会

要望予算総額

¥1,250,000

事業名	全国商工会議所観光振興大会2026 in 北海道への参加
予算額	1,200,000
事業内容	観光振興大会2026は北海道で開催される予定であり、詳細は未発表。遠方ということもあり2泊3日は必要と考えている。 昨今の人件費や燃料費高騰に伴い、交通費や宿泊費等の上昇の影響もあり予算額を増加する。大会登録料や移動費、宿泊費等は、仮定での金額。 大会登録料25,000円＋宿泊費50,000円＋交通費60,000円＋飲食費25,000円＝160,000円／1名費用。近年の参加人数から15人程度の参加をみて総額2,400,000円程と見込むが、負担金を徴収することを前提として120万円を計上。
事業名	日田祇園集団顔見世の週末開催へ向けた取り組み
予算額	0
事業内容	昨年度は豪雨のため中止となったが、日田祇園集団顔見世の【週末開催】は多くの方に認知されている。引き続き『交流人口の拡大・観光業の拡大』を図るべく、週末開催実行委員会にて地域振興委員会と共同で協力を図り、集団顔見世をはじめ日田祇園山鉦をより魅力的なものにしていく。 なお本事業における予算については事務簡略化のため、昨年と同様に地域振興委員会に一本化する。
事業名	・九商連観光委員会、県商連観光ネットワーク協議会への参画 ・日田市日本遺産活性化懇話会への参画
予算額	50,000
事業内容	・九商連観光委員会、県商連観光ネットワーク協議会への参画 上記委員会並びに協議会へ参画し市や県の境界を超えた広域観光振興事業に取り組むものとする。九商連観光委員会は年に1回ほど福岡市での会議開催があるため旅費等として5万円を計上する。 ・日田市日本遺産活性化懇話会への参画 咸宜園活用の地域振興事業へ『日田市日本遺産活性化懇話会』へ参加し、協力していく。

※事業内容欄に予算の根拠を記入してください

令和6年度 日田祇園山鉾集団顔見世週末の概要について(報告書)

概要

令和6年7月14日(日)開催の「日田祇園山鉾集団顔見世」開催にあたり、人的支援を中心とした様々な支援策を企画・展開して、雰囲気やプレミアム感の醸成を図り、「日田祇園の曳山行事」の歴史的価値の向上と事業継続に向けた取り組みを実施した。

- ・第36回 日田祇園山鉾集団顔見世 7月14日(日)(日田駅前特設広場)※雨天中止
- ・令和6年 日田祇園(本祭) 7月20日(土)、21日(日)

①日田祇園集団顔見世行事における『曳き手』確保のための行動

減少する山鉾の曳き手を増やすため、日田祇園山鉾集団顔見世並びに本祭に向けて昨年度と同様に市内の誘致企業や中小企業、金融機関等 計31事業所や高校生への参加募集の呼びかけを行った結果、昨年度からの取組みへの認知が高まっていた為か、顔見世への曳き手としての参加予定者は昨年度を上回る90名の参加者の応募があった。

(本祭参加者：2日間で82名〈実行委員会関与分のみ〉)

また今年度は新たに教育委員会へ働きかけ、10年後を見据えた将来の曳き手の確保、ふるさと日田の伝統行事に参加する事への興味を持ってもらうため、校長会を通じて市内の小中学校へ日田祇園への参加(小学生は「綱引き」)周知を図った。

②日田祇園集団顔見世における『観覧席』の設置

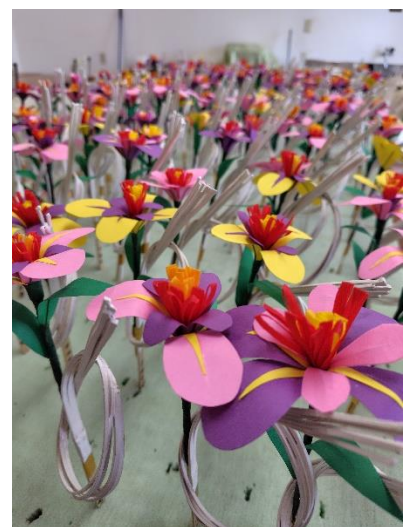
昨年設置した「栈敷席」においては、プレミアム感はあるものの、費用対効果や正面から山鉾が見えないなどの問題点もあり、今年度は山鉾の正面を確保、柵を設置しゆったりと座って各町の山鉾が一同に見れる『観覧席』を150席設置。また観覧席にプレミアム感を演出するため、日田祇園ならではの土産として『ミニパイパイ』を準備した。

なお今年は「観覧席」を、日田市観光協会を通じて4,000円/席で販売。観光協会の販売席数91枚、会議所議員による購入19枚、旅館組合17枚、来賓席6枚の合計133枚が予約された。

(当日観覧席用の土産として渡す予定だった『ミニパイパイ』については、協賛企業および人材派遣企業への御礼として配布)



↑日田駅前 観覧席設置位置



↑ミニパイパイ

③屋台村によるお祭りの雰囲気醸成

日田駅西側の県道沿い（ドラッグストア モリ前）に11店舗（飲食10店、物販1店）に呼びかけ、キッチンカー・屋台による『日田祇園屋台村』を展開し、観光客や参加者に日田の食を堪能してもらう予定だった。

（R5年度は キッチンカー5店舗）

④バスツアーによる観光客の誘致

日田市観光協会と連携して、九州産交・第一観光によるバスツアーを企画して集団顔見世への集客を図った。当日は雨天となり、第一観光のバスツアーは中止、九州産交のバスツアー（29名）は日田市まで訪れて、祇園会館などを見学した。



第一観光のバスツアー

充実の日帰りコース / 宿泊コース

[第一観光TOP](#) > [バスツアー](#) > 日田祇園山鉾「集団顔見世」と湯布院さんぽ



バスツアー

A562福岡発

日田祇園山鉾「集団顔見世」と湯布院さんぽ

✕ ポスト

👍 いいね！ 0

LINEで送る

旅行代金	10,800円
旅行日数	日帰り
出発日	7月
行先	大分・日田方面
料金説明	*タ1付 *子供（小学生）：大人と同料金

ゆっくり出発

イベント・祭り

芸術鑑賞

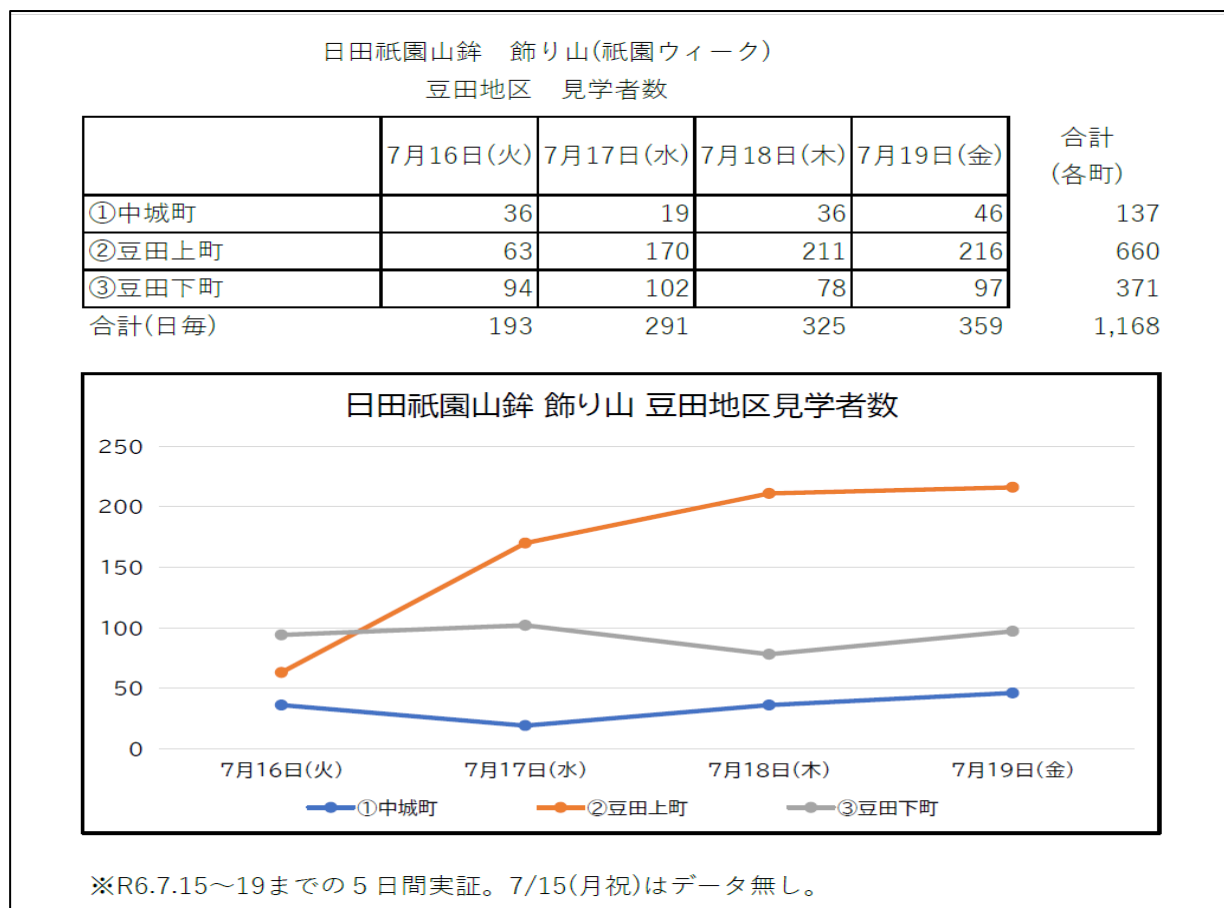
日にち限定

人数限定

⑤『飾り山』による日田祇園ウィークの醸成

集団顔見世から本祭までの1週間、市内で日田祇園に関する周知が弱いとの指摘を受け、観光客が多い豆田3地区〈中城町、豆田上町、豆田下町〉の3ヶ所において飾り山として観覧できるように配置した。

観光客からは概ね好評であり、特にインバウンド客によるカメラ撮影が出来るよう手配、観光客による情報の拡散を狙った。



日田市が公式発表した集団顔見世および日田祇園本祭についての来場者数は、

- ・ 7月14日(日)
…豪雨により中止 (前年 16,000 人)
- ・ 7月21日(土)、22日(日)の2日間
…40,000 人 (前年度 34,000 人)

令和6年度 日田祇園山鉾集団顔見世週末開催実行委員会 収支報告書(見込)

(R7.1.23時点)

令和6年4月1日 から 令和7年3月31日 まで

【収入の部】

(単位:円)

項 目	R 6 年度 決算額	R 6 年度 予算額	備 考
1. 協賛金	880,000	500,000	企業協賛金88口〈40企業〉
2. 販売収入	0	750,000	
3. 県補助金	0	0	
4. 支援金		300,000	商工会議所より(地域振興委員会…金額未定)
5. 繰入金	0	0	
6. 雑収入	0	0	
7. 繰越金	1,166,360	1,166,360	
合 計	2,046,360	2,716,360	

【支出の部】

項 目	R 6 年度 決算額	R 6 年度 予算額	備 考
1. 事業費	997,715	1,174,800	
1. 需用費	202,290	142,000	うちわ(参加者記念品)、チケット印刷代、観覧席用ミニパイパイ、帯・手ぬぐい 等
2. 使用賃借料	447,920	690,800	レンタル料(観覧席用フェンス、パイプ椅子、飾り山用フェンス 等)
3. 役務費	42,640	70,000	参加者損害保険料〈本祭参加者分のみ〉
4. 通信費	4,865	2,000	お礼状送付、振込手数料
5. その他の事業費	300,000	270,000	各町へ支援金(9基+祇園囃子)
2. 雑費	358,994	726,700	・ 祇園参加者募集チラシ(所報折込) ・ 顔見世〜本祭前までの山鉾警備費(夜間) ・ 飾り山警備費(シルバー人材) ・ 法被クリーニング代 ・ 観覧席用消耗品等
3. 予備費	0	814,860	
合 計	1,356,709	2,716,360	